

2023年度 SDGs 2030 ゴールをめざして 地球をまもる子どもたち

高島第一中学校「ユネスコスクール加盟」

2022年11月に加盟が認定されました



昨年は大豆を収穫してみそづくりを
今年も大豆を植えました

「どの教科でもどの学年でも取り組みましょう。」
—柳沢前校長の言葉

SDGsの取り組み
4月25日、理科の徳田先生と体育の畔上先生に、ユネスコスクールとして、高島第一中学校がSDGsの達成に向けて取り組んでいることについて、お話を伺いました。～



高一中で育てたやさいの豊かさ!!!

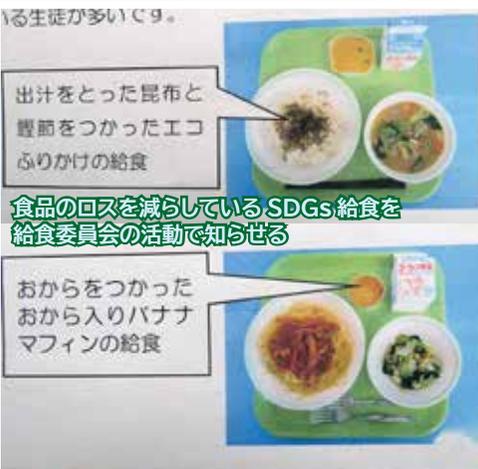
「4年程前にユネスコスクール加盟を申請してから、その活動を継続しているのを認められました」
「授業では、美術の授業で環境のポスターを作ったり、理科の授業で使っている消費電力量と電気料金を調べて、節電の大切さを学んだりしました。また、特別支援学級や園芸部が中心になって、ひまわりやピーマン、なす、トマト、きゅうり、トウモロコシ、ブロッコリー、カリフラワー、大豆、わた、ベリー、バナナな



収穫後の植物や落ち葉から、たい肥循環させた!

どを育てました(左上写真)。NPO法人センスオブアースを招いて、大豆の育て方を学び、みそを作る体験をしました」
「コンポストを作って、植物や落ち葉・腐葉土を容器に入れ、たい肥を作って、畑にまき、ごみの削減をしています」
「コンタクトレンズの空き容器を回収し、アイシテイ eco プロジェクトに寄付、1年で5,100個の空きプラ容器をリサイクルしました」

～実効のあるすばらしい取り組みですね。



出汁をとった昆布と鰹節をつかったエコふりかけの給食

食品のロスを減らしているSDGs給食を給食委員会の活動で知らせる

おからをつかったおから入りバナナマフィンの給食

SOE NEWS

No.195

2023年 6月



センスオブアース

市民による自然共生パンゲア

平成27年度地球温暖化防止活動
環境大臣表彰受賞団体



大豆って何がすごいかのプレゼンテーションを真剣に聞き考える



「かきくけコンタくんの集めようプロジェクト」生徒の発案のコンタクトケース集めマスコット

「からだにやさしくて あたたかい わたを育てよう」

～ひろがるひろがるわたの栽培～ SOEが育て収穫した「わた」の種を今年も希望団体へお届けしました



紙でできたポットに植えて、苗を育て、そのまま土に定植する

ほPPERランド成増 5歳児12人◎5月15日(月)

●土に植えるのが楽しかった ◎洋服に使われているのを初めて知った ▢わたと種を分けるのが楽しかった ◎タネが油になるなんて ～わたの役目について、いろいろ見たり自分の服に触ったりして考え、体感からわたに触れ、わたの役目や大切さを感じ取りました。



先生より▶▶「わたが植物だというおどろき!」「衣服は身近で親しみやすいものだったことも楽しんでいた」「保育者も初めて知ることや、わたと種を分ける機械など初めて見るものもあり、とても勉強になった」



水につけて根の出た小さな種を一人ずつ植えていく注意を良く聴いて活動している

サンシティ聖母幼稚園 年長組41人◎5月16日(火)

●紙芝居がおもしろかった ▢土にタネを植えるのが楽しかった

先生より▶▶「事前準備や導入でうまく子どもを引き付けてくださりテンポの良い展開だったので、長時間の授業でも、

飽きずに楽しんでいた」「クイズや紙芝居を通してわかりやすい内容であった。年長組のみんなもとても喜んでいました。興味や関心があり、話も聞き、積極的に発言もして楽しかったです」



みんなは種にびっしりついているわたを指で取ってたけど、「綿繰り機」を使うと簡単にできるので、驚いています

キッズタウンむかいほら保育園 5歳児18人◎5月19日(金)

▣わたに触るのが楽しかった ◎ゼーんぶ楽しかった ◆紙芝居、クイズが楽しかった
～保育園のまわりは、武蔵野の崖線に囲まれ、緑豊かな地域です。子どもたちも、のんびりと活動を楽しんでいました。



先生より▶▶「クイズや感想など子どもたちが発言する機会が多くてよかった。わたに関する興味や関心は強くなったと思う。自分の洋服のタグを見ると身近さや親しみを感じられたと思う。わたとポリエステルの違いを知るとき、容器を二人組で観るのはとてもよかった。わたが植物であることを初めて知った子どもが多かったようで学びになった」

板橋区立みなみ保育園 5歳児13人◎5月24日(水)

●わたと友だちになれたことがたのしかった ▢クイズがおもしろかった ▢紙芝居がおもしろかった ◎お金や油のクイズが楽しかった ▣種を植えるのが楽しかった ●全部楽しかった ～右写真、真剣に植えています。すごい集中力です。下写真は、手でわたと



種を分離して

いますが、しっかりわたが付いてなかなか取れません。やはり集中して、わたを取っています。自然物への集中力はすごいものです。

先生より▶▶「わたの種をいただき小皿で育てる段階から当日のプログラムに期待を持ち参加することができた。紙芝居や考える問題、実際に触れる植えることが体験でき有意義な時間だった」



グリーンフェスタ2023 5月13-14日 板橋区立赤塚植物園

センスオブアースは、出店と、舞台での自然観察「いもむしのたからぶくろ」プログラム実施



5月14日のステージプログラム「こども自然教室—赤塚植物園の宝探し—」に、ボランティアとして参加し、紙芝居を読んだり、感想を語ったりする東京家政大学宮地ゼミ3年生のみなさん。たくさんの子どもたちを喜ばせてくれました。



自然のたからもの探しのカードを「見つけたシール」でいっぱいにした親子さんの笑顔。特にお父さんは、本当に子どもにかえったみたいにうれしそうでした。

ケヤキ広場に出店した「風となかよし—かざぐるまをつくって回してあそぼう—」も大盛況!



発行

特定非営利活動法人 センスオブアース・市民による自然共生パンゲア

東京事務所 東京都板橋区前野町4-8-6 (〒174-0063) phone: 03-3960-6052 fax: 03-3960-6052
e-mail: info@npo-soe.jp url: npo-soe.jp